

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和8年2月4日実施)

| | 図書名等 | 聴き取り内容 |
|---|--|---|
| 1 | <p>ジュネットコミックス472 ピアスシリーズ682 お隣さんはオトナ失格の泣き虫マゾ! 令和8年2月5日発行</p> | <p>お仕置きと称して、お尻をたたき、自分の思い通りに相手を誘導していく、暴力的な表現と言ってもいいし、人格否定的と言ってもいい。性器は白抜きしているがシーンによっては形状も分かりやすく体液描写もある。生活改善という名目としているが(少し変な感じも受ける)、全体として見て、指定該当やむなし。</p> <p>性器は消してあるが、形は完全に分かる。加害性、暴力性あり。人を恐怖と暴力と洗脳で支配可能であるかの様な描写がなまじリアルである為に、青少年に非常に大きな悪影響がありそう。(例:加虐心、庇護欲、ホッとして涙、仕置き、過集中)絵はきれい。指定該当やむなし。</p> <p>性器の修整はされているものの、性描写があり指定やむなし。</p> <p>前半部分はお仕置きシーン(お尻の描写)が目立つため、性的感情というよりも痛々しい印象が強く残る。お仕置きが人格否定につながるかは判断に悩む。ただ後半からの性行為シーンは、画角などで配慮を受けるシーンもあるが、性液や擬音がリアリティにあふれ、前半とのギャップが大きく、判断に悩むが、指定該当やむなし。全編大部分とは言い難い。</p> <p>BL調教コミック。調教漫画なので、強制感はあるが、同意のもとと判断。ただし、男性器の消しの甘さと登場回数が青年レベルを超えているので、指定該当やむなし。</p> <p>修整はフチが描かれていて形がわかる。分量は多くない(後半急増)。体罰、人格否定ではないと誤認させるおそれあり。指定該当やむなし。</p> <p>第6話のみ該当する表現があると思う。それ以外の大部分においては、擬音や体液描写、性器描写のいずれも露骨ではないし、スパンキング(尻を叩く)も必ずしも性的な要素(人格否定的とも言い難い)との位置付けではなく教育的要素もあり、そのような体罰が社会的に問題だとしても、今回の条例が対象とする表現ではなく指定基準の範囲外であると考え。全編大部分ではない。指定該当やむなし。</p> <p>障害のある人を洗脳するような物語で不快である。決して人格は守られておらず、青少年が見ることが望ましいとは思えない。過去に比較して性描写は少ないが、精神的な暴力が多い。該当やむなし。</p> <p>描写シーンも全体的に少なく(最初と最後に多い)、表現もそれほど過激ではないと思う。人格否定というほどでもないが、絵ではなく文章で、非該当かという判断に迷う。責めるといふか否定している。保留。</p> <p>性器修整されている、そもそも性器かどうか判然としない表現でも白ヌキが少しでも入っていれば卑わいという事になるのか疑問がある。性行為の描写も、決して多くなく、物語のラストの方だった。保留。</p> <p>マニアックなテーマ過ぎてリアリティなし。性交シーンだらけですが、性器は白抜きで一定の修整は施している。許容範囲。判断としては、非該当。</p> <p>人格否定の要素は多分にあるし、体罰という部分でも良くない表現とはいえ、根本に愛があるという部分で許容できる内容だと感じた。性器描写についても消しの甘い部分は感じなくもないが、許容範囲だと思う。指定非該当。</p> <p>前半は、二人の関係性を丁寧に、緻密に描いている。SMという特殊な関係性ではあるので、趣向の偏りは否めないが、異常性は無いといえる。特殊ではあるが異常ではない。後半は、性交シーンが続く展開となるが、性器も白くぼかしてあり、結合部のアップもほぼない。一定の配慮はされているものと思われる。ネーム(セリフ)が多く、文章ベースで作った作品という感じ。ある意味、理性的であり、無闇に劣情を刺激するというものでもない。日本の漫画表現の多様性を守るという意味でも、指定非該当。</p> <p>性器の消しの甘さはある。ただし、性器がそこまで描かれていない。道具使用もあるが、全体にみて(後半を除いては)卑わい感はない。暴力性がないこともあり、非該当。</p> <p>お尻を強く叩くというシーンが多いが、暴力性が高いというよりは、信頼関係を有する二者間での性的嗜好に基づく性行為の一環なので、許容範囲。性行為描写は多少、性器の形態は分かるものの、白抜きで表現・描写するという技法により露骨な生々しさは抑えられている。指定非該当。</p> <p>強制的ではなく、同意の上での関係。性交シーンはあるものの多くはなく、描写も最後は多めだが全体としては少ない。指定非該当。</p> |

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和8年2月4日実施)

| | 図書名等 | 聴き取り内容 |
|---|---|---|
| 2 | <p>POE BACKS BABY COMICS へんたいきぐるみと いっしょ 令和8年1月10日発行</p> | <p>帯に、着ぐるみとエンさん、ラブコメと書いてある。コミカルなタッチで卑わい感も人格否定も読んでいてあまり感じさせない。全編大部分ではないとも思う。ただ、性器の描写が、白を入れているが、分かりやすく露骨になっている。指定該当やむなし。</p> <p>性器を消していない。絵はきれい、上手い、表現力も素晴らしい。ギャグも面白い。ストーリーもひねりがある。指定該当やむなし。</p> <p>卑わい感があるかどうかの判断が難しいところもあるものの、性器の修整が甘いところがあり、性描写もあり、指定やむなし。</p> <p>描写のシーンは全体的に少ないが、過激。コミカルな絵柄なので一層露骨に感じる。人格否定や薬物などもなく、マンガとしてはおもしろい。指定該当やむなし。</p> <p>しっかりと性器が描写されており、性交シーンもリアルに描かれている。BLの設定としてはあまり見られないストーリーなだけに、余計に性描写が強く印象に残ってしまう。指定該当やむなし。</p> <p>BLコミカルコミック。画もかわいく、内容もコミカルなので、嫌悪感は感じなかった。しかし、男性器の消しの甘さが著しい。青年レベルを優に超えているので、指定該当やむなし。</p> <p>修整については、性器をしっかりと描いている。画角の工夫はある。性交シーンの分量は少ない。指定該当やむなし。</p> <p>非常に楽しめるギャグ作品。残念ながら性器がほぼ無修正なところがある。日本の法律(刑法175条)においても、無修正の性器の表現は違法という認識。残念ながら指定該当。</p> <p>全体的にコミカルなタッチであり、卑わい感を抱きづらいので、判断に迷ったが、第2話・第3話の性描写は扇情的になっており、該当との判断に傾いた。たとえば、第1話は問題ないと思う。コマによってはジョイ君マークで局部を隠していたりするので、作者も性器描写を敢えて見せていることになると思う。全編大部分ではない。指定該当やむなし。</p> <p>絵がきれいで読みやすく明るいコメディ。それゆえ、背徳感はない。器具の使用はあるが、強制性や人格否定もない。全体的には、じゃれ合いから始まる純愛ものと言える。ただ、性交描写が行き過ぎていると言わざるを得ない。量的にも少ないとはいえない。性器の消しが甘く、結合部の描写、擬音・体液描写の多い箇所もある。しっかりエンタメ作品にしようとしている部分もあり、一方で、しっかり性描写をはっきり描いてしまっている。どちらを重視するかという点で非常に悩ましいが、指定該当やむなし。</p> <p>まず、性器の消しが出来ていない。最後はいい話で終わっているものの、性交シーンが多い。また、導入部分は半強制的である。ただ、描き方のせいかなり卑わいさを感じない。指定該当やむなし。</p> <p>ストーリーはコメディタッチだが、BLに目覚めさせようとする内容。性行為描写をしなければならなかった理由が不明。表紙だけでは内容の予想が難しく、青少年が間違っ手にしてしまう可能性がある。過去のものより性描写は酷くはないが、人格を否定する性行為からスタートしており、指定該当やむなし。過去のものとは比べて露骨でないが、不快感があった。</p> <p>着ぐるみとの性交シーンはリアリティなし。擬音も多く、性器修整も甘いが、許容範囲。判断としては、非該当。</p> <p>やり方は問題あるにせよ、好きな思いが愛を勝ち取ったという見方をすることができるので、内容的にはコメディタッチで許容できる範囲だと感じた。少し性器描写で行き過ぎなところもあるが、量的には少なく、こちら許容だと判断した。指定非該当。</p> <p>子供向け番組制作を最初にうたっているのが気になるが、そこまで性行為のシーンが描かれているとは思わない。卑わいな感じも無く、暴力的な事もなくコミカルなラブコメであるので、非該当。</p> <p>終始、コメディタッチで明るい印象のストーリー。犯罪性、残虐なシーンも一切なく、読者に対して心理的に悪影響を与えることはない。性行為描写はあるものの、指定図書に該当するほどまでの露骨で激しい描写は抑えられている。指定非該当。</p> |